

支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		**	**			**		

起 票 日	平成 29 年 6 月 2 日	所 属	080100 市議会事務局
年 度	平成 29 年度	会 計	01 一般会計
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事 業	040000 議会調査研究事業	
	節	19 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	40,000 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支 払 回 数	4 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認
負 担 行 為 額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	140,436 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	459,564 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件 名	研究研修費 7/18~7/20 第14回全国地方議員交流研修会参加負担金及び夕張視察参加費
-----	---

摘 要	
-----	--

債 権 者 等	支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	平成 29 年 6 月 15 日
	住 所			
	名 称	市民クラブ代表者 丸谷 正八郎		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人		債 権 者 番 号	0 - 000004463 - 00

領 収 氏 名	住 所	氏 名	市民クラブ代表者 丸谷 正八郎	領 収 印	
---------	-----	-----	-----------------	-------	---

上記の金額を領収しました。平成 29 年 6 月 15 日

支 払 済

平成 29 年 6 月 15 日
泉大津市 会計管理者 あて



伝票番号

29-003027

整理番号

29-000008-04

001
負担行為番号

29-000160

呼出番号



00015374

29 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成29年 6 月 2 日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民クラブ
代表者名 丸谷正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	40,000円		
内 訳	7/18～7/20 第14回全国地方議員交流研修会 参加負担金及び夕張現地視察参加費		
支 払 先	第14回全国地方議員交流研修会実行委員会		
予 算 科 目	研究研修費	交付残額	15,956円 4 月
使 用 者 名	丸谷 正八郎、林 哲二		

第14回全国地方議員交流研修会

日時：2017年7月18日(火)～19日(水)／札幌市 20日(木) 現地視察／夕張市

会場：北海道自治労会館 (〒060-0806 北海道札幌市北区北6条西7丁目5-3 電話 011-747-1457)

第1日目：7月18日(火)

◆全体会合 PM 1:30～5:30 (1:00 開場)



記念講演「トランプ政権と日本——直面する国と地域の課題」(仮題)
亀井静香・衆議院議員

★各界あいさつ 農業団体／商工団体／労働団体／他

特別報告「沖縄県の現状と課題」(仮題)

吉田勝廣(沖縄県政策調整監、元沖縄県議、元金武町長)【依頼中】他

★問題提起 実行委員会・広範な国民連合全国事務局

◆名刺交換会 PM 6:00～7:30／ホテル札幌ガーデンパレス

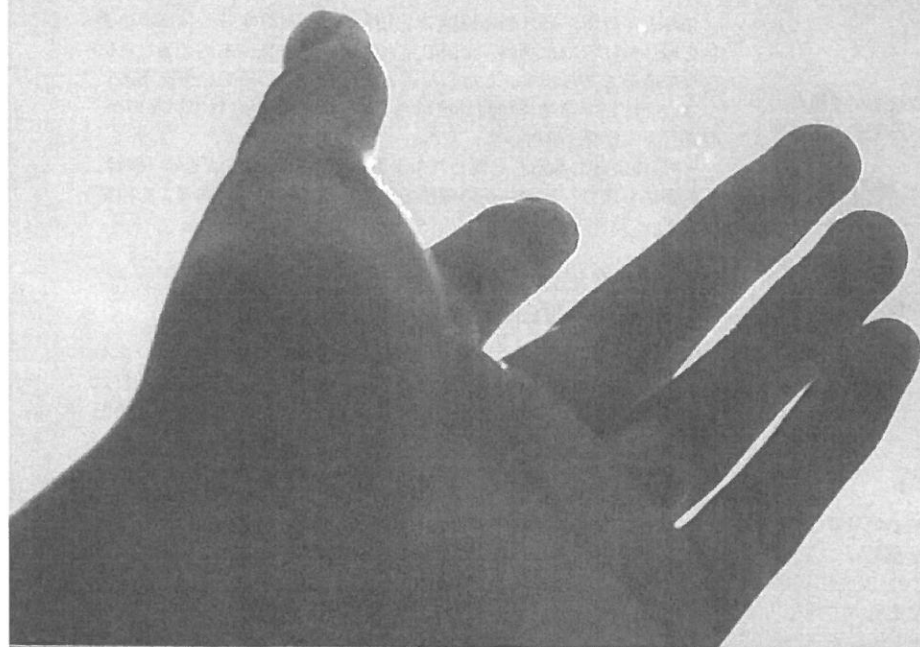
第2日目：7月19日(水)

◆分科会(第1～第5分科会) AM 9:30～ ◆全体会合～ PM 4:30

第3日目：7月20日(木)

◆現地視察 夕張市の現状と課題

8:30 道議会出発→10:00～13:30 夕張市役所にてオリエンテーション後、市内視察→14:30 新千歳空港→15:30 道議会



参加費：都道府県市区議／15,000円 町村議／5,000円

●夕張現地視察参加費／5,000円 名刺交換会費／5,000円

弁当代／1,000円(19日昼食)は別料金

【申込方法】議会事務局にお送りした申込書をコピーしていただくか、「広範な国民連合」ホームページ(<http://www.kokuminrengo.net/>)の「地方議員交流研修会紹介」のところから申込書をダウンロードしてEメールあるいはFAXにてお申込下さい。

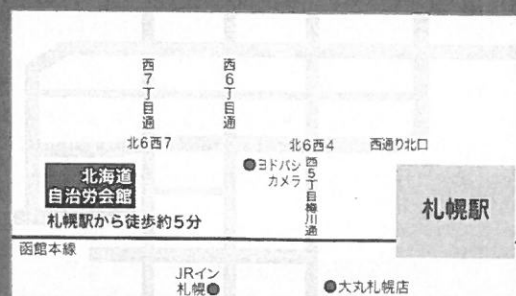
*第1次締め切り／6月20日(火)

参加費は所定の郵便振替用紙にてご送金をお願いします。現職議員の方は用紙を議会事務局に送っておりますので、問い合わせ下さい。議会事務局に無い場合はご連絡下さい。

主催 第14回全国地方議員交流研修会実行委員会

実行委員会代表 中村進一(三重県議会議員) 副代表 高橋 亨(北海道議会議員) 原竹岩海(福岡県議会議員)

全国事務局 〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F 電話 090-8588-8307(迫田) FAX 044-541-2066 E-mail giin@kokuminrengo.net



領 収 証

2017年6月15日

丸谷 正八郎 様

一金 15000 円

第14回全国地方議員交流研修会（7/18～19）参加費
として

上記まさに領収しました。

第14回全国地方議員交流研修会実行委員会

事務局 会計担当 迫田 富雄

〒212-0011 川崎市幸区幸町4の8 青柳ビル2F

TEL 090(8588)8307 FAX 044(541)2066

領 収 証

2017年6月15日

丸谷 正八郎 様

一金 5,000 円

第14回全国地方議員交流研修会（7/18～19）夕張現地視察費
として

上記まさに領収しました。

第14回全国地方議員交流研修会実行委員会

事務局 会計担当 迫田 富雄

〒212-0011 川崎市幸区幸町4の8 青柳ビル2F

TEL 090(8588)8307 FAX 044(541)2066

領 収 証

2017 年 6 月 15 日

林 哲二 様

一金 15000 円

第 1 4 回全国地方議員交流研修会 (7/18~19) 参加費
として

上記まさに領収しました。

第 1 4 回全国地方議員交流研修会実行委員会
事務局 会計担当 迫田 富雄
〒212-0011 川崎市幸区幸町 4 の 8 青柳ビル 2F
TEL 090(8588)8307 FAX 044(541)2066

領 収 証

2017 年 6 月 15 日

林 哲二 様

一金 5,000 円

第 1 4 回全国地方議員交流研修会 (7/18~19) 夕張現地視察費
として

上記まさに領収しました。

第 1 4 回全国地方議員交流研修会実行委員会
事務局 会計担当 迫田 富雄
〒212-0011 川崎市幸区幸町 4 の 8 青柳ビル 2F
TEL 090(8588)8307 FAX 044(541)2066

支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		**	**			**		

起 票 日	平成 29 年 6 月 20 日	所 属	080100 市議会事務局
年 度	平成 29 年度	会 計	01 一般会計
予 算 区 分	0 現年度		
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事 業	040000 議会調査研究事業	
	節	19 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	1,215 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認	
支 払 回 数	5 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認	
負 担 行 為 額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	141,651 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	458,349 円	請求書番号			
源泉支払内容	*****				

件 名	広報広聴費 議会傍聴およびかけ隊平成29年6月購入分チラシ製作料分担金
-----	-------------------------------------

摘 要	
-----	--

支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	平成 29 年 7 月 3 日
債 権 者 等	住 所		
	名 称	市民クラブ代表者 丸谷 正八郎	
	役職等/氏名		
	銀 行 / 口 座		
	口座名義人	債 権 者 番 号	0 - 000004463 - 00

領 収 氏 名	市民クラブ代表者 丸谷 正八郎	領 収 印	
---------	-----------------	-------	--

上記の金額を領収しました。平成 29 年 7 月 3 日

支 払 済

平成 29 年 7 月 3 日
泉大津市 会計管理者 あて



伝票番号

29-004272

整理番号

29-000008-05

001

負担行為番号

29-000160

呼出番号



00020145

29 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成29年 6 月 20 日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民クラブ
代表者名 丸谷 正一郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	1, 2 1 5 円		
内 訳	議会傍聴よびかけ隊平成29年6月購入分チラシ製作料分担金		
支 払 先	(有)フジイチ		
予 算 科 目	広報広聴費	交 付 残 額	458,349 円
使 用 者 名	市民クラブ		

議会傍聴よびかけ隊
平成29年6月購入分チラシ製作経費分担計算書

有限会社フジイチ
大阪府泉大津市板原町3-15-20

A4チラシ 3,000枚 9,720円(消費税込)①

①÷議員数 9,720 円 ÷ 16 人 = 607.5 円②

【分担額】

日本共産党 ②×2人＝	1,215 円
市民トライネット ②×2人＝	1,215 円
公明党 ②×3人＝	1,822 円
おづ ②×3人＝	1,822 円
市民クラブ ②×2人＝	1,215 円
立志会 ②×2人+端数1円＝	1,216 円
維新蒼風会 ②×2人＝	1,215 円

合計 9,720 円

領 収 証

泉大津市議会

様

No. _____

★

¥ 9,720 -

但

29 年 7 月 20 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入
印 紙

コクヨ ワケ-1097

泉大津市板原町3丁目15番20号
有限会社フジイチ
代表取締役 藤原克彦

御 請 求 書

泉大津市議会 御中

有限会社フジイチ

〒595-0033

大阪府泉大津市板原町3丁目15-20

TEL (0725)33-4141

FAX (0725)33-4143

下記の通りご請求申し上げます

平成29年6月8日締め分

当月ご請求額

お振込先

9,720 円 (内消費税: ¥720)

1/1枚

日付	製 品 名	数 量	単 価	金 額	備 考
06/08	チラシ	3,000	3	9,000	A4・上質紙70K

泉大津市板原町3丁目15番20号

有限会社フジイチ

代表取締役 藤原 克彦

小計: 3,000 9,000

納品書

No. 8985

泉大津市議会 様

H29 年 6 月 8 日



有限会社

フジイチ

大阪府泉大津市板原町3丁目15番20号
TEL (0725) 33-4141
FAX (0725) 33-4143

品名	数量	単価	金額	摘要
A4用紙 上質紙 70k 4c/oc Tax	3,000	3	9,000 720	
合計			7 9,720-	

上記のとおり納品致しました

皆さんの関心やお声は議会活性化の大きなチカラです。

泉大津市議会では、意見の違いを越えて、

議会と市民皆さんとの接点づくりを全議員で進めています。

議会は意外とおもしろい

議会では、さまざまな提案があります。

対立することもあるれば、意見が一致することもあります。

そうやって、まちの今と未来が創られています。

一度議会の覗いてみてください。そして、声を届けてください。

市議会は、どなたでも傍聴することができます。
傍聴を希望される方は、市役所6階傍聴席までお越しください。(定員60名)

また、議会開会中は、市役所1階ロビーのテレビで市議会の模様を放送しています。

インターネットによる議会中継の配信も実施中!! (生中継と録画放送)

ホームページのリニューアルも行いました。
ぜひご覧になってください。

泉大津市議会

検索

クリック

泉大津市議会 議会傍聴よびかけ隊



支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		**	**			**		

起 票 日	平成 29 年 6 月 27 日	所 属	080100 市議会事務局
年 度	平成 29 年度	会 計	01 一般会計
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事 業	040000 議会調査研究事業	
	節	19 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	126,120 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支 払 回 数	6 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認
負 担 行 為 額	600,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	267,771 円	控 除 額 合 計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	332,229 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件 名	旅費 7/18~7/20 第14回全国地方議員交流研修会及び夕張市視察参加旅費
-----	---

摘 要	
-----	--

債 権 者 等	支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	平成 29 年 7 月 14 日
	住 所			
	名 称	市民クラブ代表者 丸谷 正八郎		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人		債 権 者 番 号	0 - 000004463 - 00

領 収 氏 名	住 所	氏 名	市民クラブ代表者 丸谷 正八郎	領 収 印	
---------	-----	-----	-----------------	-------	---

上記の金額を領収しました。平成 29 年 7 月 14 日



伝票番号

29-004555

整理番号

29-000008-06

007 負担行為番号

29-000160

呼出番号



00021970

29 01 01-01-01 04-00-00 19-90-06



供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	係員
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成29年 6 月 27 日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 市民クラブ
代表者名 丸谷 正八郎 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	126,120円		
内 訳	7/18～7/20 第14回全国地方議員交流研修会及び夕張市視察 参加旅費		
支 払 先	丸谷 正八郎、林 哲二		
予 算 科 目	旅 費	交 付 残 額	332,229円
使 用 者 名	丸谷 正八郎、林 哲二		

平成29年度

出張申請書

(出張)

会派名	市民クラブ		氏名	丸谷 正八郎				
出発・帰庁年月日		出発 29年7月18日		帰庁 29年7月20日				
出張先(順路) 北海道自治労会館(北海道札幌市北区北6条西7丁目5-3) 夕張市役所(北海道夕張市本町4丁目2番地)								
目的及び用件 第14回全国地方議員交流研修会及び夕張市視察に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 関西空港	km	円 670	円	円	円	円	円	円 670
" (飛行機) 新千歳空港		MM103 peach 11,000						11,000
" (JR千歳線・函館本線) 札幌	46.6	1,070			2泊 30,000	3日 10,500		41,570
" (徒歩) 北海道議会会議事堂								
" 夕張市役所		北海道議会会議事堂～夕張市役所～新千歳空港間は、主催者側が用意したバスを利用する。						
" 新千歳空港								
" (飛行機) 関西空港		MM110 peach 9,150						9,150
" (南海本線) 泉大津		670						670
(線)							計	63,060
(線)								
(線)								
(線)								

主管課用

平成29年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	市民クラブ		氏名	丸谷 正八郎				
出発・帰庁年月日		出発 29年7月18日		帰庁 29年7月20日				
出張先(順路)		北海道自治労会館(北海道札幌市北区北6条西7丁目5-3) 夕張市役所(北海道夕張市本町4丁目2番地)						
目的及び用件		第14回全国地方議員交流研修会及び夕張市視察に参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 関西空港	km	円 670	円	円	円	円	円	円 670
" (飛行機) 新千歳空港		MM103 peach 11,000						11,000
" (JR千歳線・函館本線) 札幌		1,070			2泊 30,000	3日 10,500		41,570
" (徒歩) 北海道議会議事堂								
" 夕張市役所		北海道議会議事堂～夕張市役所～新千歳空港間は、主催者側が用意したバスを利用する。						
" 新千歳空港								
" (飛行機) 関西空港		MM110 peach 9,150						9,150
" (南海本線) 泉大津		670						670
(線)							計	63,060
(線)								
(線)								
(線)								
右の金額領収いたしました。					金額	¥ 6 3 0 6 0		
平成 年 月 日					職名	市民クラブ		
泉大津市会計管理者 殿					氏名	丸谷 正八郎		



平成29年度

出張申請書

(出張)

会派名	市民クラブ		氏名	林 哲二				
出発・帰庁年月日		出発 29年7月18日			帰庁 29年7月20日			
出張先(順路) 北海道自治労会館(北海道札幌市北区北6条西7丁目5-3) 夕張市役所(北海道夕張市本町4丁目2番地)								
目的及び用件 第14回全国地方議員交流研修会及び夕張市視察に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 関西空港	km	円 670	円	円	円	円	円	円 670
" (飛行機) 新千歳空港		MM103 peach 11,000						11,000
" (JR千歳線・函館本線) 札幌	46.6	1,070			2泊 30,000	3日 10,500		41,570
" (徒歩) 北海道議会議事堂								
" 夕張市役所		北海道議会議事堂～夕張市役所～新千歳空港間は、主催者側が用意したバスを利用する。						
" 新千歳空港								
" (飛行機) 関西空港		MM110 peach 9,150						9,150
" (南海本線) 泉大津		670						670
(線)							計	63,060
(線)								
(線)								
(線)								

主管課用

平成29年度

領収書兼旅費明細書

(出 張)

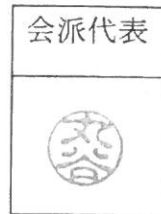
会派名	市民クラブ		氏名	林 哲二				
出発・帰庁年月日		出発 29年7月18日		帰庁 29年7月20日				
出張先(順路)		北海道自治労会館(北海道札幌市北区北6条西7丁目5-3) 夕張市役所(北海道夕張市本町4丁目2番地)						
目的及び用件		第14回全国地方議員交流研修会及び夕張市視察に参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 関西空港	km	円 670	円	円	円	円	円	円 670
" (飛行機) 新千歳空港		MM103 peach 11,000						11,000
" (JR千歳線・函館本線) 札幌		1,070			2泊 30,000	3日 10,500		41,570
" (徒歩) 北海道議会議事堂								
" 夕張市役所		北海道議会議事堂～夕張市役所～新千歳空港間は、主催者側が用意したバスを利用する。						
" 新千歳空港								
" (飛行機) 関西空港		MM110 peach 9,150						9,150
" (南海本線) 泉大津		670						670
(線)							計	63,060
(線)								
(線)								
(線)								
右の金額領収いたしました。				金額 ￥63060				
平成 年 月 日				職名 市民クラブ				
泉大津市会計管理者 殿				氏名 林 哲二				



□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収受年月日	平成29年7月24日			
差 出 名		市民クラブ 丸谷 正八郎						
あ て 名		泉大津市議会議長				提出期限		
収 受 文 書 の 記 号				収受文書の日付	平成29年7月24日			
件 名		報告書						
議長		副議長		事務局長		次長		合
								
主 管	次長補佐	議事調査係長		庶務係長		係員		議
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
日 時：平成29年7月18日（火）～7月20日（木） 出張先：北海道札幌市、夕張市 目 的：第14回全国地方議員交流研修会に参加								

報 告 書



平成 29 年 7 月 24 日

泉大津市議会議長 殿

(会派名) 市 民 クラブ

出張者氏名 丸谷 正八郎



下記により出張致しましたので、その概要について報告いたします。

記

1、日 時 平成 29 年 7 月 18 日(火) ～ 20 日(木)

2、出 張 先 北海道札幌市及び夕張市

3、目 的 第 14 回「全国地方議員交流研修会」

<研修会場> 北海道自治労会館 (18 日～19 日)

<現地視察> 北海道夕張市 (20 日)

(主 催) 第 14 回全国地方議員交流研修会実行委員会

(第 1日目) 7 月 18 日(火) 13 時 30 分～ 17 時 30 分

<記念講演> 「トランプ政権と日本一直面する国と地域の課題」

講師 亀井 静香氏(衆議院議員)

(報告事項)

- ・ 現在の状況は、科学文化の発展が人の幸せに繋がっていない
 - ・ ITC に人間が取り残されて行くのではないか？
 - ・ 協調から孤立(エゴ)へ
 - ・ 世界は国連では治まらない
 - ・ 日本は今でもグローバリズム(協調)と言っている
 - ・ 自由貿易が守れるか？
 - ・ 政党が力を持たなくなった(日本及び外国も)
 - ・ 現実、日本の政治は政党政治である(市民・国民感覚が現状と合わない状態である)
 - ・ 労働組合も統率が取れていない(地区労・連合は組合員の為になっていない)
 - ・ 日本の様々な組織が弱体している
 - ・ トランプ政権に立ち向かうには、日本とアジアが協力すべきだ(朝鮮問題の解決が課題である)
 - ・ 善良な市民が集団になってテロを行う時代になって来ている(予防政策が必要である)
- ＜霧が雲になり大雨となる。その前に規制する法律は必要だ＞

(所 見)

世界経済は、グローバリズムから自国主義に本当に変わっていくのか日本にとって難しい舵取りが必要な時期である。

組織の弱体化は、様々な所で見かけられる後継者が育たない、若者の組織離れが問題であると思う。

日本の戦後政治の転換期に来ているのかも知れない、今こそ地方自治体が地域性を活かした政策を、しっかりと実施し国に対して意見が言えるような地方からの発信が重要となってくる。泉大津市は財政基盤が弱体化していて地方交付税に頼っている状況であるが30年～50年後の将来を見据えた政策で地域の賑わい活性化を実現できるよう考えて行きたいと思います。

<特別報告> 「北海道の現状と地方自治体の課題」

講師 逢坂 誠二氏(衆議院議員)

(報告事項)

- ・ 国が自治体を握っている
- ・ 裁判に内閣の力の影響が強くなって来ている
- ・ 国と地方の権限のバランスがおかしくなっている

- ・ 地方から国にもっと発信して欲しい
- ・ 全国の議会の作法はそれぞれ違う
- ・ 議会ルールの見直しが必要である
- ・ 情報公開は徹底すべきだ
- ・ 情報を出すことで議論は深まる
- ・ 今は、物が売れてもお金が回らない状況である
- ・ 実体経済で無く、物を売らない「資本経済(株・為替等)」が世界経済を動かしている
- ・ 「資本経済(株・為替等)」は、IT によって動かされている現状だ
- ・ 実際にお金を動かせるのは地方自治体の政策である(地域経済に直結している)

(所 見)

地方自治体が国に対して様々な事を発信していく時に来ている。

地方自治体の政策で地域経済を動かすことが実体経済の循環に結びつく事が分かったが自治体に財源が少なく民間活力の有効活用が望まれる。

資本経済の現状を聞いて、現実と照らし合わせてみたら共感するところが多くある。

資本経済の下では、経済状況と家計(生活水準)は比例しなくなって来ている。

実体経済の好転に期待するところが大きい。

<特別報告> 「沖縄県の現状と課題」

講師 吉田 勝廣(沖縄県政策調整監、元沖縄県議、元金武町長)

(報告事項)

- ・ 辺野古基地問題がある
- ・ 辺野古基地が完成しても普天間基地は返さない
- ・ 辺野古の海上埋め立ては岩礁破壊をしている(法律違反だ)
- ・ 沖縄県は米軍基地経済に依存しない(H26 年度全体歳入額の 5.7%となった)
- ・ 政府による自治への介入である
- ・ 地方自治体に対する政府の介入は地方自治を破壊する
- ・ 沖縄の経済は観光で支えられる状態となって来ている(今の沖縄を変えたい)

(所 見)

沖縄県の現状として辺野古基地問題を聞いたが、地方自治体に対する政府の介入と表現できるのかは疑問である。沖縄県の観光行政の現状を詳しく聞いたかったが、お話がなかったことは残念です。観光で経済や財政規模が保たれるのかは疑問が残った。只、沖縄県だけに安全保障の負担を多く持たせている現状は改善していく必要を感じました。

(第 2 日目) 7 月 19 日(水) 9 時 30 分～ 16 時 00 分

<分科会>

①「PFI・コンセッション。新たな民営化で地域経済は活性するか」

梶谷 大志氏（北海道議会議員）

(報告事項)

- ・ 現在、北海道では「空港運営の民間委託」が進行している
- ・ 北海道の7空港を一括民間委託となる
- ・ 地域の交通基盤として空港を活用し、内外人の交流人口拡大等による地域活性化を図る必要がある

<経営一体化とそのメリットは何か>

- ・ 就航便数と路線の拡大等の空港活性化に向けた取組みが可能となる
- ・ 物販・飲食等の収入を原資とした着陸料の引き下げ等が可能となる
- ・ 日本の国管理空港は、各施設の運営主体がバラバラである(その改善が可能となる)

<課題は何か>

- ・ 空港を核として地域の活性化に本当に繋がるのか
- ・ 公共性が無くなるのでは(合理化や利益追求によるリストラが行なわれないか)
- ・ 地元住民の雇用に悪い影響が出ないか

(所 見)

空港運営の問題は、他の自治体でも発生している。

関西空港と伊丹空港の一括民間委託化も、その一つである運営の合理化や物販・飲食等の充実を図り魅力ある空港創りを実現しています。その結果、利用客の増員に結び付けています。空港を核としての地域の活性化は図れると思います。

公共性を保ち、民間の発想と機動力でより良い空港運営に期待いたします。

「水道民営化問題（PFI・コンセッション）の現状と課題」

辻谷 貴文氏（全日本水道労働組合書記次長）

(報告事項)

- ・ 水道(水)は自治の問題である（民営化は正しいのか?）
- ・ 水道管の耐震化問題（進めていく必要がある）
- ・ 水道技術の低下（技術職の職員の減少・職員削減が続いている）
- ・ 水道料金の値上げがしにくい（市民説明等に負担がかかる）
- ・ 経営状況が厳しくなっている（水需給の減少問題がある）
- ・ 民営化に対する危機意識と問題意識を持って対応を考えて欲しい

(所 見)

水道事業については、公共性が強く安定した供給が求められることから民営化は難しいと感じました。

特に水道技術者の削減は、今後考えていく必要があります。

水道料金の適正化を行い持続可能な体制を創ることで水の安定供給が可能となると考える。広域水道企業団として今後も事業展開を図るべきである。

「PFI・コンセッションの問題点」

三雲 崇正氏（新宿区議・弁護士）

(報告事項)

- ・ 国の PPP/PFI 推進施策と自治体における公共施設等総合管理計画策定の関係を考える事
- ・ インフラの老朽化が急速に展開する中「新しく創ること」から「賢く使うこと」への転換が必要である。
- ・ PPP/PFI 優先的検討規定策定については、策定するメリット・デメリットをしっかりと協議すべきである。
- ・ PPP/PFI を選択しない理由を国から問われる。
- ・ 市民・住民に対して PPP/PFI の良さを伝える努力が求められる。
- ・ PPP/PFI の業者選択は自治体独自でしっかりとやって行く事が重要である。

(所 見)

国は、公共施設等の整備や運営等の方針策定の際は PPP/PFI 手法の導入を優先的に検討することを要請している。

国は、PPP/PFI の導入に関する「優先的検討規定」を策定して運用するよう働きかけを強めている。

PPP/PFI の導入は、住民の共有財産である公共施設に対して地方自治体は自主的・自律的判断で実施すべきである。

制度に使われるのではなく、使いこなすように慎重に調査・研究を行う必要がある。

泉大津市に合った事業展開が求められて来ると感じました。

(第3日目) 7月20日(木) 10時00分 ～ 13時30分 現地視察

○ 夕張市長 鈴木直道氏 挨拶有り

夕張市現地視察「夕張市の現状と課題」

厚谷 司 氏 (夕張市議会議員)

(報告事項)

1、産炭地として生まれた夕張

夕張市は炭鉱という単一産業により構成されていたことから、炭鉱の閉山は人口流出を加速させる大きな要因で炭鉱数が減り続けた結果、それを食い止める役割が行政に求められた。炭鉱従業員数が統計上最大となった1955年は、人口107,332人 世帯数21,218世帯で炭鉱従業員数17,294人が人口に占める割合は16%であり、平均世帯構成人員も5.05人となっており、炭鉱の閉山がいかに多くの人口を流出させかが読み取れる。

2、エネルギー政策転換は自治体の姿を大きく変える

相次ぐ炭鉱事故、閉山・人口流出・自治体財政悪化を招く

3、炭鉱から観光でなければならなかった理由

炭鉱企業が放置した、老朽資産の除却・雇用対策・自治体としての社会基盤整備を維持するには、現在ある施設を利用して観光産業に取り組んだ。

4、財政破綻

巨額債務を解消する計画は、更なる人口流出を招く。

赤字再建団体となり支出が大きく削減され、国指導の再建計画では地域に住む住民は耐えられなくなり、夕張市を離れていき人口の削減傾向から脱却できない悪循環となっている。

5、財政再建と地域再生

「全国最高の負担・最低のサービス」と言われた計画から、計画終了後の街づくりを見据えた計画を現在作成中である。新しいまちづくりの実現のためJRと協議し電車路線を廃線して路線バスの拡大を検討中である。国の支援をお願いして夕張市の生き残りをかけた「都市拠点整備区域」の整備事業を実施していく。

6、市街地をバスの車窓から見学、途中「都市拠点整備区域」の説明を受ける。

人口減少の状況が街並みに出ています。「都市拠点整備区域」を見せて頂きました。

複合施設を建設し地域住民の活動拠点として、まちに活気と人の交流を生み出し夕張市に人が戻り、新しい街並みを生み出す第一歩としたい。

7、「旧北炭夕張炭鉱模擬坑道」の見学

模擬坑道は、1900年に北炭が石炭生産のために開坑した第三斜坑の一部である。

1954年に昭和天皇訪問にあわせて見学可能な模擬坑道となりました。

その後も、炭鉱整備を使った救護隊の実地教育や鉱員養成の現場として、また市民や小学生の社会科見学にも使用されてきました。閉山後は、石炭の歴史村の見学施設として環境がより整備され、補修を繰り返しながら炭鉱の歴史を伝える所として現在に至っている。

(所 見)

夕張市の再生の道は、今尚大変厳しい状況である。

鈴木直道夕張市長の挨拶で「第2の夕張にならないように」という言葉に違和感がある国が全国の地方自治体に対して良く使う言葉である。

地方自治体は急激な変化に弱い、体制の立て直しが出来ないまま負の連鎖が始まる悪循環を止められなくなる。

今は、地方自治体は財政状況を毎年把握できるようになっている、突然の危機は避けられると思う。と述べられました。

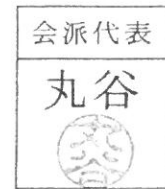
地方自治体が国の政策により、大きな影響を受け存続自体が危ぶまれる状況は今後も起こる可能性はあると思う。

地方自治体は、独自の政策を提案し国に訴え実現していく方法を早急に考え出さなくては行けないと感じました。

地方の時代を確立して、地方から国に発信出来る機能を構築していきたいと思っています。

□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収受年月日	平成29年7月26日			
差 出 名		市民クラブ 林 哲二						
あ て 名		泉大津市議会議長				提出期限		
収 受 文 書 の 記 号				収受文書の日付	平成29年7月26日			
件 名		報告書						
議長		副議長	事務局長	次長	合			
								
主 管	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	係員	議			
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
日 時：平成29年7月18日（火）～7月20日（木） 出張先：北海道札幌市、夕張市 目 的：第14回全国地方議員交流研修会に参加								



報 告 書

平成 29 年 7 月 26 日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 市民クラブ

出張者氏名 林 哲 二



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時 平成 29 年 7 月 18 日 (火) ～ 7 月 20 日 (木)
2. 出張先 1、2 日目 北海道自治労会館
北海道札幌市北区北 6 条 7 丁目 5 - 3
3 日目 夕張市内視察
3. 目的 第 14 回全国地方議員交流研修会 参加
4. 報告事項 内容は以下の通り

◎ 1 日目 (18 日)

現地実行委員会歓迎挨拶 ・ 高橋亨 北海道議会議員

- 開会挨拶 ・ 実行委員会代表 中村 進一 三重県議会議員
来賓挨拶 ・ 日本労働組合総連合会北海道連合会 会長 出村良平
記念講演 ・ 亀井 静香 衆議院議員
(トランプ政権と日本 地域の自立、自主の日本。アジア
の平和)
特別報告 ・ 逢坂 誠二 衆議院議員
(北海道の現状と地方自治体の課題)
特別報告 ・ 吉田 勝廣 沖縄県政策調整監 元沖縄県議 元金武町長)
・ 山内 末子 辺野古基金運営委員長
問題提起 ・ 山本 正治 実行委員会/広範な国民連合全国事務局長代行

◎2日目(19日)

分科会討論

【第1分科会】

「疲弊と貧困化がすすむ地域をどうするか。打開に向けた自治体の課題」

【第2分科会】

「PFI・コンセッション。新たな民営化で地域経済は活性化するか」

【第3分科会】

「地方財政の危機をどう打開するか」

【第4分科会】

「地方自治体・地方議員からアジアの平和と共生に取り組む」

【第5分科会】

「首長交代！豊かに暮らせる地域をめざし、国に物申す自治体をつくる」

全体会合

◎3日目(20日)

夕張市視察

バス3台で移動

夕張市長の挨拶

夕張市の現状と課題について 厚谷夕張市議会議長

夕張市内視察(石炭博物館、都市拠点整備区域)

所見

これより第14回全国地方議員交流研修会に参加しての所見を述べます。

まず、初日の亀井静香衆議院議員の講演についてですが、冒頭、述べられた話が印象的でした。「科学技術が発達した現代社会においてその技術を駆使して幸せに生きているのでしょうか？」

私はすぐにウルグアイの元大統領、ホセ・ムヒカ氏の言葉を思い浮かべました。

「貧しい人とは、少ししかものを持つていない人でなく、もっともっといくらあっても満足しない人のことだと。大切なのは考え方です。発展は幸福の邪魔をするものでなく、幸福をもたらすものでなければならない。人間は1人では生きられません。エゴイズムは競争を生み出し、科学や技術の進歩をもたらしました。だが、同時に危険なほどの欲望も生み出したのです。その欲望は全てを破壊しかねません。」

そして、亀井氏は今の世界は協調よりも分裂に入っていると述べられました

更に、かつて国々は協力しながら生きていこうとしていたが今はどうですか？

国連は錦の御旗ではない！大国のエゴがまかりとおる、あるいは、とおそうとしている。トランプ大統領の政策はわかりやすい。自分の国さえ良ければいい。

グローバリズム→国際協調といっても相手がその気なし。自由貿易、国際協調といえは理想だが現実はそうではない。

等々いろいろと警笛をならしておられました。

また、今の日本は政党政治の時代でなくなっている。日本の政治がぐちゃぐちゃ。

組織よりも個の方向へ、地域社会の中でも会社でもバラバラになっているとなどとかかなりの警笛をならしておられました。

私も以前から同じような危機意識は持っておりましたので、国会議員である亀井衆議院議員から発せられる言葉には説得力がありました。

とにかく、話が大きくなっていますが、私に出来る事は、必要以上に危機意識をあおるのは良くないと思いますが、1人では生きられないだけに、身のまわりから協調性を育む活動（挨拶運動、イベント等）コツコツと継続していかねばならないなあと感じました。

次に逢坂誠衆議院議員の話がありました。

歯切れの良いわかりやす言葉で議会のルールが今まで当たり前と思っていた事が当たり前でなくなっていると、訴えてました。おそらく共謀罪について採決が強行されたことに対する怒りが全面的に出ておったように思います。

民主主義は情報を隠蔽したら止まってしまうとも話されてました。加計学園の問題についてです。

物が売れて地域の活性化すれば本当に幸せか？という話もありました。

亀井氏も幸せというキーワードを使いましたが、逢坂氏も幸せというキーワードにふれておりました。

私も実はこの幸せという事についてはずっと考えてます。

人間はなんのために生きるのか？また何のために生まれてきたのか？

大変大雑多な話かもしれませんが、結局、どんなに素晴らしいまちづくりができて、幸福感を感じられなければ、意味がありません。いかに、幸せを感じて生きられるような社会を作るかが大切だと思います。

実体経済（物を売る経済GDP500兆くらい）に対し資本経済（株、為替、先物など）の規模は実体経済の2倍とも3倍ともいわれている。しかし、お金がすべてではない。

その通りだと思います。

その後、沖縄県の現状と課題を吉田氏（沖縄県政策調整監）から報告がありました。

2日目の分科会では、私は第4分科会（地方自治体・地方議会からアジアの平和と共生に取り組む）というテーマの会に入りました。

ここでは、22名の全国からの県議、市議が入り、テーマに沿って議論する場という事でしたが、まず、福岡県日朝友好協会会長、北原 守氏より（アジアの共生40年の歩みから）というテーマで報告があり、次に綾瀬市議の越川好昭氏から（日米地位協定の抜本改定を目指す運動促進）というテーマで報告があり、その後、内容に対して、質問したり議論したりという内容でした。

私が1つ腑に落ちなかったのは、確かにとても大事な事だと思いますが、日米地位協定の事が何故アジアの平和と共生に取り組むというテーマの分科会に取り上げられたか？です。誰も何も言われなかったもので、私もあえて波風を立てるような事はしませんでした。本来ならアジアの平和と共生というのであれば、中国との尖閣諸島の問題や、韓国との日韓合意が済んでるにも関わらず従軍慰安婦の像をさらに建てる問題や、北朝鮮の核ミサイル、そして、発展が目覚ましいベトナム、マレーシア、シンガポール、台湾 etc などとの協力体制環境作りなどに対して発展的な意見交換が出来る事を期待しておりました。

結局、アジアでの話は北原氏が報告された、北朝鮮の話だけで終わりました。

確かに北原氏は青年時代から、中国、韓国、北朝鮮と交流し、信頼のネットワークを築いてこられ、その活動内容と努力には頭が下がりますし、本当に素晴らしい活動！と感動を覚えました。基本は言うまでもなく対話であり、その対話による交流を続ける事によって信頼関係が築けるというもので、まさに理想とするところだと思います。

そして、今回は北朝鮮との交流についてお話下さいました。

テレビでは金正恩の独裁政治で国民はがんじがらめの恐怖のイメージがあるが、実際に行ってみて、国民と接してみると決してそんな事はなく、大変よい人ばかりだとおっしゃられました。

そこで、私は北原氏へ質問したのが、対話して信頼関係を作るのは大変いい事だし、争いや戦いでなくしっかりと話合っていくのは素晴らしい事でそれを望みたい。しかし、事実として、北朝鮮は日本人を拉致し、今だに返してもらえない。一部だけ返してもらったが。この事について、彼らはどう思ってるのか？

そうしたら北原氏は何度も行くたびに拉致被害者の事は話しているが、中々そこは難しい。もっとしっかりと対話をして、信頼関係が出来れば話が進みやすいというニュアンスの事をおっしゃいました。

今年に入ってミサイルを日本海に向けて連発してるのも大変気になりますが、拉致問題は長年続いてる問題だけに家族の方々の事を考えると本当の頭が痛い問題です。なんとか話合で事が進めばいいのですが。

なんかもやもや感の残る分科会でした。

3日目は今回の研修で1番興味があった夕張市の視察です。

札幌市内の北海道議会駐車場から、バス3台で夕張市へ。

当初、夕張市役所でのレクチャーという案内でしたが、夕張市内のホテルシュエパロという所でのレクチャーに変わり、市役所も見ただけにがっかり。

そして、バスが遅れて時間も押してしまい、少し慌ただしい感じになりました。

鈴木夕張市長の挨拶では、2007年3月に財政再生団体へとなったが、最初、夕張市長になった時に、周りからミッションインポッシブルと言われたそうです。

これは、手に負えない任務、やってられない任務、命がけの任務と言った意味あいです。

夕張市はかつて炭鉱の町として栄え、最盛期の人口は1960年11万人だったのが、2017年3月末で8,648人で、13分の1にまで減少しています。

353億の赤字をかかえて財政破綻。10年間で116億円を償還。

市役所職員を260人から96人に。市議会議員も18人から9人に、報酬40%カット。公共施設利用用50%引き上げ、水道料金1.7倍引き上げなど、借金返済のため市民が苦しむことに。このままでは市民の気持ちが嫌になってしまうので、何とか経済を再生させ財政を健全化するべく奮闘中。

鈴木市長は、よく、全国の財政状況が悪化している地域が、「このままでは第2の夕張になってしまう！」と言うふうに夕張の名前を使われる事が一番嫌であるとの事。

是非とも、まだまだ道半ばですが、経済を立て直し、苦しんでる地域から、「第2の夕張を目指そう！」と言われるようになりたいと話されていたのが凄く印象的でした。決して、悲壮感漂う雰囲気ではなく、むしろ自信に溢れたような一生懸命に本気で働いてる！という雰囲気をかもし出している市長でした。この人なら本当に夕張市を立て直すことが出来るのではと感じました。

そして、都市拠点整備区域としている箇所も見学し、説明も聞きましたが、まだまだ何もないような場所からは、今一つピンと来ませんでした。

やはり、人工減少というのは1つの大きなポイントだと思いました。

人がいて、人が学び、人が遊び、人が物を作って、人が物を売って、人と人との交流があって初めて地域が活性化してくる。そう考えた時、かつての最盛期10万人を超えた町が8,648人でどこまでできるのか、そして、人を呼び戻す魅力あるまちづくりがどこまで出来るのか、これからの夕張市の動向を大いに期待して注目していき、泉大津市にも、良い所は積極的に取り入れていくよう理事者に提言していきます。